

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10572002				
授業名	人間の心理と行動 A	形態	講義	単位	2
担当教員	渡辺 由希				
開講学期	2025年度 前学期	曜日・時限	水曜4限		
授業目的	心理学の基礎的な概念や理論、方法論を理解して、人間の心理と行動を客観的に把握する姿勢を身につける				
授業内容	本講義は心理学の観点から、人間の心理と行動に対して科学的にアプローチしていく。講義の前半では、人が外界をどう理解し（知覚、認知）、それについてどのように反応し（記憶、推論、感情）、外界に働きかけていくのか（学習、動機づけ）といった個人内過程を扱う。後半では、人が自分や他人をどう理解し（パーソナリティ、自己）、他者とどのように関係を結んで影響を及ぼしあうのか（対人行動、社会的影響）、特に悩みをもった相手とどう向き合うのか（心理療法）について解説する。				
到達目標	自分自身の心の動きを客観的に把握できるようになる 他者の行動の背景にある心の動きやそのしくみを考慮できるようになる 心理学の基礎的な概念および理論と、それが導き出された過程について理解する				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-（5）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	原則として講義形式で授業を行うが、アクティブラーニングの手法を取り入れることもある。 履修者には、研究法の体験やその内容に基づく意見交換をする双方向型授業(アクティブラーニング)への参加、また、授業内提出の小レポートを通じて、自ら考えをまとめることが求められる。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	特に指定なし。レジメを配布する。				
評価方法	平常点（授業内レポート）50点、試験50点				
評価基準	授業の冒頭と最後に出されるお題への回答が記入されている小レポートの提出をもって平常点とする。カードリーダーだけでは平常点はつかないので注意すること。				
試験・レポート等のフィードバック	授業の冒頭で、復習として前回の授業前後のお題の回答および授業の感想等を紹介する。				
注意事項及び履修条件	他の受講生の邪魔になること（おしゃべりや飲食、化粧など）は禁止する。悪質な授業妨害があった場合、平常点を没収して退室を求める。速やかに従うこと。また、携帯電話、スマートフォンの使用は課題実施のために授業内で使用するときを除いて原則として禁止する。 ※履修希望者は初回の授業に必ず出席すること。 参考テキスト ISBN：9784414301632, 「図説心理学入門 第2版」, 齊藤勇（心理学）, 誠信書房, 2005年				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	シラバスを熟読し、心理学についてインターネットで調べた上で、心理学と心理ゲームのちがいにについて自分で考えてくる
授業内容	心理学って心理ゲームと何がちがうの？（オリエンテーション）
事後学習	日本心理学会の「心理学ミュージアム」の展示室にアクセスし、関心があるテーマを3つ以上読んでみる
参考文献	日本心理学会ウェブサイト 心理学ミュージアム 展示室(http://psychmuseum.jp/showroom/)
第2回	
事前学習	テキストの序章を読み、心理学とはどういう学問なのかを理解する。
授業内容	心を試験管に入れるには（心理学の歴史と方法論）
事後学習	心理学の用いる方法論それぞれについて、長所と短所を自分の言葉でまとめる。その上で、何らかの心理的現象について研究するためにどんな方法を使うことができそうか、具体的に考えてみる
参考文献	三浦麻子(2017). なるほど！心理学研究法 (心理学ベーシック 第1巻) 北大路出版
第3回	

事前学習	テキスト第1章を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	実は「見える」も心の働き（知覚の心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	立命館大学 北岡明佳先生のホームページ (http://www.ritsumei.ac.jp/~akitaoka/)

第4回	
事前学習	テキスト第3章の後半を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	たくさん覚えたい、忘れてしまいたい（記憶の心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	ダニエル・シャクター(2004). なぜ、「あれ」が思い出せなくなるのか—記憶と脳の7つの謎 日本経済新聞社

第5回	
事前学習	テキスト第4章前半を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	なぜ動物（ヒトを含む）は芸を覚えるのか（学習の心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	実森正子・中島定彦(2000). 学習の心理—行動のメカニズムを探る サイエンス社

第6回	
事前学習	テキスト第1章後半を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	「よく考える」ってどういうこと（推論の心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	道田 泰司・宮元 博章・秋月 りす (1999). クリティカル進化(シンカー)論—「OL進化論」で学ぶ思考の技法 北大路書房

第7回	
事前学習	テキスト第2章前半を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	情熱を科学する（モチベーションの心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	鹿毛雅治・櫻井茂男(2012).モチベーションをまなぶ12の理論 金剛出版

第8回	
事前学習	テキスト第2章後半を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	喜怒哀楽を科学する（感情の心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	大平英樹(2012)感情心理学・入門 有斐閣

第9回	
事前学習	テキスト第5章前半を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	十人十色の「色」とは何か（性格の心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	小塩真司・中間玲子(2007)あなたとわたしはどう違う?—パーソナリティ心理学入門講義 ナカニシヤ出版

第10回	
事前学習	テキスト第5章を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	わたしって誰?をどう知るか（自己の心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	高木修・安藤清志(2009). 自己と対人関係の社会心理学 (シリーズ21世紀の社会心理学) 北大路出版

第11回	
事前学習	テキスト第6章前半を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる

授業内容	人を知る、人と関わる（対人認知と行動の心理）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	山本真理子・原奈津子(2006). 他者を知る 対人認知の心理学 セレクション社会心理学 6 サイエンス社

第 1 2 回	
事前学習	テキスト第6章後半を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	「みんなで一緒」の心理学（社会的影響）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	釘原直樹(2011). グループ・ダイナミクス 集団と群衆の心理学 有斐閣

第 1 3 回	
事前学習	テキスト第8章を読み、内容を自分の言葉でまとめてみる
授業内容	悩みとどう向き合うか（メンタルヘルス）
事後学習	テキストを再読し、授業の内容もあわせて重要な点を自分でまとめなおす。その上で、この領域で自分が試験を作るとしたらどんな問題を出すかを考えて、ノートに正解とともに記す。
参考文献	厚生労働省ウェブサイト 働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト～「こころの耳」（ http://kokoro.mhlw.go.jp/ ）

第 1 4 回	
事前学習	第1回～第6回の授業資料を見直し、それぞれの領域でその後どんな研究が行われたと思うかをまず自分で考えた上で、インターネットなどで調べてみる。
授業内容	前半の復習と関連領域のその後の発展
事後学習	復習の授業内容をふまえ、もう一度授業資料を見直し、重要なポイントを自分の言葉でノートにまとめる。
参考文献	

第 1 5 回	
事前学習	第7回～第13回の授業資料を見直し、それぞれの領域でその後どんな研究が行われたと思うかをまず自分で考えた上で、インターネットなどで調べてみる。
授業内容	後半の復習と関連領域のその後の発展
事後学習	復習の授業内容をふまえ、もう一度授業資料を見直し、重要なポイントを自分の言葉でノートにまとめる。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
---------------------------------------	--

ディプロマポリシー	<大DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】 <大DP1-（1）> 日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。 <大DP1-（2）> 情報リテラシーや数量的スキルを修得している。 <大DP1-（3）> 課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。 <大DP1-（4）> 自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。 <大DP1-（5）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。 <大DP-2> 【専門教育分野における知識・技能・能力】 <大DP2-（1）> 自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。 <大DP2-（2）> 修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。
-----------	---